



# 中央小だより ザウルス通信



令和6年度 9月号  
発行責任者 堀場 幸伸

中央小の  
スローガン 「響き合い高め合って ぐんぐん伸びる ザウルスキッズ」

## 中央小の合言葉

- 「考える」……しっかり「考える」本気ザウルス
- 「やりぬく」…とことん「やりぬく」根気ザウルス
- 「助け合う」…心から「助け合う」勇気ザウルス

<http://www.ueis.ed.jp/school/tyuo/>

長い夏休みも終わり、学校には元気な子供たちの声が戻ってきました。子供たちは、安全に気を配りながら有意義な夏休みを過ごすことができました。これも保護者の皆様、地域の皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。

さて、10月5日は運動会、11日が1学期終業式となります。学校では、子供たちの安全・安心を最優先に考えながら、運動会の練習や学期のまとめに取り組んでいきたいと考えております。

引き続きのご支援とご協力をお願いいたします。



## 子ども自転車免許事業（4年生）

4年生が「子ども自転車免許事業」を行いました。宇都宮市生活安心課の職員にお越しいただき、安全な自転車の乗り方を教えていただきました。子供たちは、学習に真剣に取り組み、実技指導を通して自転車の安全な乗り方やヘルメットを着けることの大切さなどを実感を伴いながら学ぶことができました。

小学生では、自転車に関連した交通事故が非常に多くなっています。今日の学習を生かし、安全な自転車の乗り方を実践してほしいと思います。



## 表彰者の紹介！

### 【市歯と口の健康週間コンクール】

- 標語の部 二席 2年 石神 晴琉  
二席 4年 橋本 イシムウェ ゴウワ  
三席 3年 稲村 愛璃  
佳作 4年 佐川 葵



歯が健康  
ご飯のおいしさ  
二十倍！

## P T A親子奉仕活動

8月25日のP T A親子奉仕活動では、たくさんの皆様にご参加いただきありがとうございました。おかげさまで、学校がきれいになり、子供たちも気持ちよく学校生活を再開することができました。中心となって準備を進めてくださったP T A事業研修部の皆様、お世話になりました。



## 「いじめゼロ強調月間」の取組

9月は「いじめゼロ強調月間」です。本校では以下の取組を実施し、子供たちが明るく充実した学校生活を送れるように努めてまいります。

### 主な取組

- いじめゼロ強調月間スローガンの掲示
- 第2回学校生活に関するアンケートの実施
  - 実施期日 9月2日（月）～6日（金）
  - 実施対象 全校児童
  - 事後指導 アンケートによりいじめの訴えがあった事案については、すべて関係児童からの聞き取りを行い、事実関係を確認し双方の保護者への連絡と市教委への報告を実施
- いじめゼロ標語の募集  
各クラスでいじめゼロ標語を作成し、廊下へ掲示する。
- いじめゼロ集会  
代表委員を中心にいじめ根絶に向けた集会を実施する。
- 相談ポストの設置  
校長室前に鍵のある相談ポストを設置する。



【いじめゼロ集会】

## お子様の様子で「気になること」はありませんか？

「朝なかなか起きられない」「頭痛や腹痛を訴えて、布団から出られない」「朝のうちは食欲がない」「午前中は気分が優れず、午後になると元気が出る」などの症状を聞くと、生活習慣の乱れや怠け心との関連が疑われてしまいます。しかし、「さぼり」とは異なる身体的な原因で体調を崩している場合があります。それが「起立性調節障害」という病気です。

この病気は、脳血流の低下から自律神経系の不調（めまい、頭痛、倦怠感、食欲不振）を伴う一方、症状が多様であることから診断がつきにくく、適切な治療が遅れ、不登校や学力不振につながるケースも見られます。起立性調節障害は、あくまでも身体に関わる病気であり、本人の頑張りや努力、意思の力で解決できるものではありません。この病気は几帳面な性格や周囲からのストレス、本人が受けるプレッシャーなど、環境的要因が症状の安定に大きな関わりをもつと考えられており、小学生では5パーセント程度の出現率とされています。

どのような病気であれ、焦らずにじっくりと症状を緩和させていくことが大切です。本人が受けている苦痛の状況を理解し、すでに頑張っていることを評価しながら、疾病への対応や生活環境の調整を穏やかに進めていくことが求められています。

保護者の皆様も、お子様の様子で「気になること」がありましたら、一人で悩まずに、学校へご相談ください。

毎日、同じ注意をしてばかり…

→ どうすればいいの？

子どもの問題行動がいつまで経っても改善されない場合、大人もついイライラが募った指導を繰り返しがちです。

こんなときには、表面的な行動自体よりも背景や理由を探ってみてはいかがでしょうか。子どもの側から物事を分析することで、本人も気付いていない悩みや解決方法が現れてくることもあるかもしれません。

※ 本校では、宇都宮市からスクールカウンセラー（SC）が派遣され、SCによる教育相談を定期的にも実施しています。SCは、臨床心理士の資格をもち、「集団生活になじめない」「情緒不安定」「不登校（行き渋り）」「いじめ」「子育ての不安」など様々な悩みにおこたえすることができます。お子様に「気になること」がありましたら、SCの活用をご検討ください。